

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭		分野	技術	学年	第1学年
	単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準	
技術分野のガイダンス	1編1章 材料と加工の技術の原理・法則と仕組み	1～2	・身の回りの製品に込められた技術の工夫やアイデアを調べ、発表することができる。 ・技術の発達による生活や産業の変化を調べることができる。 ・身の回りの製品などを「技術の見方・考え方」の視点で観察することができる。		・3学年間の技術分野の学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組もうとしている。(態)	
		3～7	①身の回りの材料と加工の技術 ・身の回りの製品を見て、なぜその材料が使われているかを考えることができる。 ・身の回りの製品に使われている材料と加工の技術について調べることができる。 ②木材、金属、プラスチックの特性 ・木材、金属、プラスチックの特性について調べることができる。 ・木材、金属、プラスチックがどのような製品に利用されているかをまとめることができる。 ③材料に適した加工方法 ・工具や機器を加工の特性や方法に応じて分類することができる。 ・材料と目的に応じた工具や機器を選択することができる。 ・工具や機器を安全に使用方法や技術室の安全のための決まりを調べることができる。 ・簡単な加工体験を行うことができる。 ④丈夫な製品を作るために ・製品を丈夫にするための材料と加工の技術の工夫について調べることができる。 ・部材の組み合わせや接合の方法などを工夫して製品を丈夫にする方法を考えることができる。 ⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ろう ・材料と加工の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・身近な製品の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめることができる。		・身の回りの製品に生かされている材料の特性と材料に適した加工方法について理解している。(知) ・木材、金属、プラスチックなどの特性と特性を生かした利用方法について理解している。(知) ・目的とする加工に応じた工具や機器について理解している。(知) ・工具や機器を適切に選択し、簡単な製作品を製作できる技能を身に付けている。(知) ・身の回りの製品を丈夫にする方法を調べる活動などを通して、構造と部材を丈夫にする方法について理解している。(知) ・身の回りの製品が材料と加工の技術によって最適化されていることに気付くことができる。(思) ・材料と加工の技術に込められた工夫点について考えている。(思) ・主体的に材料と加工の技術について考え、理解しようとしている。(態)	

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第1学年	②
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
1編2章 材料と加工の技術による問題解決	8～21	①問題を発見し、課題を設定しよう - 身近な生活や学校などで、材料と加工の技術によって解決できる問題を見つけることができる。 - 発見した問題を解決するための課題を設定することができる。 ②製作品を構想し、設計しよう - 課題を解決するために、使用目的や使用条件に合わせて、製作品の構想を具体化することができる。 - 機能の検討 - 材料の検討 - 構造の検討 - 加工方法の検討 - 製作に必要な図に表すことができる。 ③製作の計画を立てよう - 製作に必要な図を基に、部品表、材料取り図を作成し、製作に必要な材料を準備することができる。 - 製作工程表を作成することができる。 - 工程ごとに使用する工具や機器を調べることができる。 ④作業手順を考えて製作しよう - 切り代や削り代を見込んで、仕上がり寸法線と切断線をけがくことができる。 - 材料を切断線にしたがって切断することができる。 - 寸法線にしたがって加工することができる。 - 加工後、検査・修正し、仮組み立てをすることができる。 - 組み立てをする。組み立て後、検査・修正することができる。 - 素材や用途に合った表面処理をすることができる。 ⑤問題解決の評価、改善・修正 - 材料と加工の技術による問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考えることができる。		・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思) ・製作に必要な図の描き方を理解している。(知) ・製作に必要な図に表すことができる技能を身に付けている。(知) ・材料の選択や成形の方法などを構想し、設計を具体化する力を身に付けている。(思) ・構想に基づいて、製作の計画を立てることができる力を身に付けている。(思) ・安全・適切な製作や検査・修正をすることができる技能を身に付けている。(知) ・製作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。(態)		

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭	分野	技術	学年	第1学年	③
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
1編3章 社会の発展と材料と加工の技術	22～23	①材料と加工の技術の最適化 ・自分の問題解決における最適化の場面を振り返り、社会の問題解決における最適化と比較することができる。 ・社会からの要求 ・安全性 ・環境への負荷 ・経済性 ②これからの材料と加工の技術 ・持続可能な社会の構築のために、これからの材料と加工の技術について考えることができる。		・材料と加工の技術の概念について理解している。(知) ・材料と加工の技術の最適化について考えている。(思) ・これからの材料と加工の技術について考えている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、材料と加工の技術を工夫し創造しようとしている。(態)		
4編1章 情報の技術の原理・法則と仕組み	24～28	①情報の技術とは何だろう ・生活や社会、産業のさまざまな場面でコンピュータなどの情報の技術が利用されていることを知ることができる。 ・コンピュータを構成するハードウェアとソフトウェアについてまとめることができる。 ②情報のデジタル化 ・コンピュータは全ての情報を数値化して処理していることを知ることができる。 ・情報のデジタル化の方法をまとめることができる。 ・画像をデジタル化する方法やデータ量との関係についてまとめることができる。 ③情報通信ネットワークの仕組み ・情報通信ネットワークの仕組みについてまとめることができる。 ・情報通信ネットワークを使って、情報をやりとりする仕組みについて知ることができる。 ④安全に利用するための情報モラル ・情報の特性について考え、情報が社会に与える影響について調べることができる。 ・望ましい情報社会のための態度について考えることができる。		・情報の表現や記録ができる仕組みを理解している。(知) ・情報のデジタル化の仕組み、デジタル化の方法とデータ量の関係を理解している。(知) ・情報通信ネットワークの構成について理解している。(知) ・情報通信ネットワーク上での情報を利用する仕組みについて理解している。(知) ・情報の特性を理解して、情報を安全に利用することができる技能を身に付けている。(知) ・情報が社会に与える影響を理解して、望ましい情報社会のために取るべき態度を身に付けている。(態)		

令和5年度 評価規準

学校名: 江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭		分野	技術	学年	第1学年	④
単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容			単元のまとまりの評価規準		
4編2章 双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決	29～35	⑤安全に利用するための情報セキュリティ ・情報セキュリティを実現するための3つの要素を知ることができる。 ・機密性 ・完全性 ・可用性 ・情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティの重要性について考えることができる。 ・セキュリティ対策のためのソフトウェアやシステムがあることを知ることができる。			・情報セキュリティの基本的な知識について理解している。(知) ・情報の安全を確保するために必要な判断や対応をする力を身に付けている。(思)		
		⑥情報の技術の工夫を読み取ろう ・情報の技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・身近なシステムや自動化の技術の問題解決の工夫などから、「技術の見方・考え方」について気付いたことをまとめることができる。			・身の回りにある情報の技術に込められた工夫について考えている。(思) ・主体的に情報の技術について考え、理解しようとしている。(態)		
		①双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう ・双方向性のあるコンテンツにはどのようなものがあるか調べることができる。 ・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みについて考えることができる。			・双方向性のあるコンテンツの基本的な仕組みを理解している。(知)		
		②問題を発見し、課題を設定しよう ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによって解決できる問題を見つけることができる。 ・発見した問題を解決するための課題を設定することができる。			・「技術の見方・考え方」を働かせて、問題を発見し、自分なりの課題を設定する力を身に付けている。(思)		
		③コンテンツを構想しよう ・問題を解決するためのコンテンツに必要な情報を収集し、解決策を具体化することができる。 ・構想の具体化 ・情報処理の手順の整理 ・必要な機能の整理			・使用するメディアを複合する方法とその効果的な利用方法を構想する力を身に付けている。(思)		
		④コンテンツのプログラムを制作しよう ・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグを行うことができる。 ・使用する人のことを考えてプログラムを制作することができる。			・安全で適切なプログラムの制作と動作の確認、デバッグができる技能を身に付けている。(知) ・情報処理の手順を具体化する力を身に付けている。(思)		

令和5年度 評価規準

学校名：江戸川区立小岩第四中学校

教科	技術・家庭		分野	技術	学年	第1学年	⑤
単元名		時数	単元の到達目標(小単元のねらい)・内容		単元のまとまりの評価規準		
			⑤問題解決の評価、改善・修正 ・双方向性のあるコンテンツのプログラミングによる問題解決を振り返り、解決結果及び解決過程を評価し、改善・修正する方法について考えることができる。		・コンテンツのプログラムの制作の過程や問題解決の結果を評価し、改善及び修正する力を身に付けている。(思) ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。(態)		